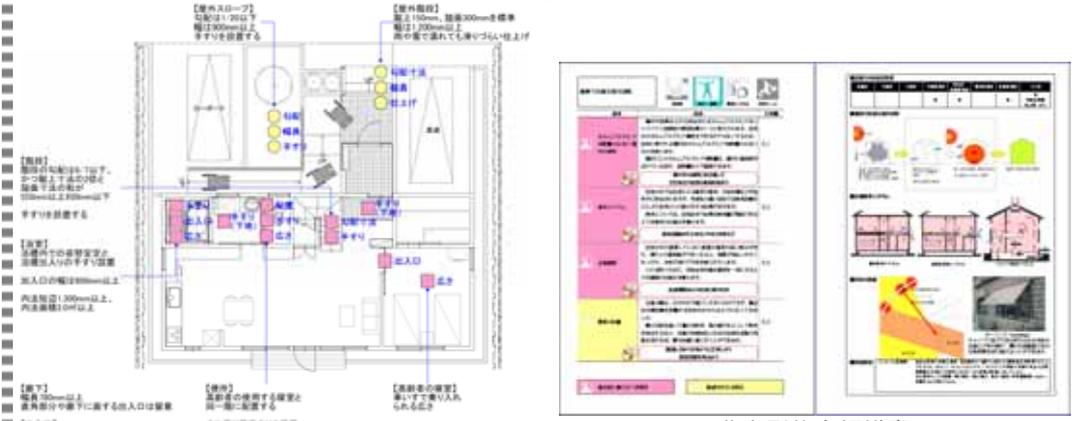


## 次世代北方型住宅に関する研究 担当部科 全科

**研究目的** 昭和63年から普及推進を行ってきた「北方型住宅」は、普及開始から15年以上が経過し、北海道における住宅の性能水準や建築技術水準は向上してきました。一方で、少子高齢化の進展や環境に対する負荷の低減など、住宅を取り巻く社会背景や住宅に求められる性能水準も大きく変わりつつあります。北海道では平成14年度から「北方型住宅」の見直しに着手し、平成17年度から新しい北方型住宅の展開が始まります。研究では、これまでの北方型住宅の成果の検証を行うとともに、新しい北方型住宅の展開に向けて、現在の技術・性能水準を調査し、新たな基準や普及を支える仕組みづくりについて検討を行いました。

**概要** **[北方型住宅基準]**  
 新しい北方型住宅基準は、「長寿命」、「安心・健康」、「環境との共生」、「地域らしさ」の4つの基本となる性能からなり、それぞれに具体的な目標像となる基準があります。研究では、現在の住宅建築技術の水準や動向、課題等について調査や実証実験を行い、各基準の内容に反映しました。また、新しい北方型住宅の展開や基準の内容について解説した「北方型住宅解説書」、具体的な基準と仕様について技術的な解説をまとめた「北方型住宅技術解説書」を作成しました。



北方型住宅解説書

**基準の例-高齢社会への対応**

**[北方型住宅サポートシステム]**  
 新たな展開では、住宅の設計・施工の内容を確認・記録し、建築主に報告する仕組みとして、北方型住宅サポートシステムを構築しました。また、北方型住宅サポートシステムでは、基準等に適合する設計・施工の記録を北方型住宅登録保管機関で保管します。研究では、施工状況報告の実施状況等を工務店等住宅生産者に調査し、システムの設計に反映することで、実情に合わせた使いやすいシステムとなるよう検討しています。



北方型住宅サポートシステムの入力画面

**[既存住宅ストックの活用]**  
 新たな展開では、既存住宅ストックの活用に向けた改修技術の開発・普及についても取り組みます。現在の住宅改修は、外壁、屋根などの外装や水回りの改修を中心に行われており、耐震性、省エネルギー、高齢者対応など、これからの住宅に求められる基本的な性能の向上を目的とした改修は進んでいません。今後の課題としては、整備されつつある既存住宅改修技術を適用する住宅のタイプに合わせてまとめるとともに、改修効果をわかりやすく示すなど、技術情報の提供方法を検討する必要などが挙げられます。

北方型住宅については、北海道建設部建築指導課ホームページ  
<http://www.pref.hokkaido.jp/kensetu/kn-ksido/kanri/index.html> をご覧ください。